

令和7年度 第4回 引佐北部小中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年 1月23日（金） 13時30分から15時35分まで
2 開催場所 引佐北部小中学校 校長室
3 出席委員 鈴木 知成、山本 培代、廣瀬 稔也、池田 信子、五十川 亜純、萬立 芳朗
4 欠席委員 松田 好道
5 学 校 畠山 徹（校長）、高柳 もと子（教頭）、中道 茂美（教務主任）、野末 敏宏（教務主任）、田力 里枝（CSディレクター）

- 6 傍聴者 なし
7 会議録作成者 CSディレクター 田力 里枝

8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、萬立委員が推挙され、全員異議無くこれを承認した。

9 協議事項

- | | |
|-------------------------|------|
| （1）学校関係者評価について | 教務主任 |
| （2）夢育やらまいか推進事業CS加算分について | 教頭 |
| （3）第3期委員について | 教頭 |

10 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

委員が配付資料に目を通してから熟議に入った。

（1）学校関係者評価について

- ・「自主的に学習できている」の設問に対して、保護者、教員が「あまりそう思わない」という回答が多いが、子供は「できている」と思っているようだ。それはなぜか。（萬立委員）
→昨年度から宿題を減らして自主学習をするよう指導している。大人は子供たちにもっと自ら進んで学んでほしいと願うが、子供自身は、宿題も出ないし、授業で学んでいるから大丈夫と思っているのではないかと。自主学習の意味や意義を丁寧に伝えていく。（教頭）
- ・主体性の欠如や基礎学力の低下は本校だけなのか、全国的な傾向か。（廣瀬委員）
→コロナ禍以降、自分で勉強を進める力が弱いことが明らかになった。本校の子供たちは素直でいい子が多いが、自分で考える力をもっと身に付けていく必要がある。教師が伴走者になるように8年度の重点課題としていくつもりだ。（校長）
- ・「完走大会の廃止」の要望がある点など、課題の「粘り強く取り組むこと」が子供に伝わっていない現状のようだ。ぜひそこをがんばらせたい。（廣瀬委員）
- ・小学生のうちのはのんびり過ごすも、中学生になるとそれなりに自覚が出てきて、勉強の必要性を感じる子供が多いのではないかと。あまり早いうちから現実的なことばかり言う必要はないのではないかと。（鈴木委員）
→どの子もそうやってしっかりと考えられるようになるとは限らない。確かに、現実的なことばかり言っても、ついていけない子も出てくる。どうやったらそのような主体的な学習姿勢の中学生につながるか、考えていきたい。（教頭）
- ・学校行事が多いのは本校の特徴か。（萬立委員）

- 小中一貫校の特徴であるが、今後バランスをどうとるかを考えたい。(校長)
- ・行事の経験を積んで子供が育っていくと思う。どうしたら自然に自分から勉強に取り組むようになるのか知りたい。(池田委員)
- ・子供たちが挨拶できないというのは本当なのか？そうだとしたらどの子も、普通に挨拶ができるようになるとよい。また廊下を走る子が多いというのは本当か。(山本委員)
- 特に低学年で走る子は多い。落ち着いて生活できるよう、繰り返し言っていく。挨拶も同様に、まずは大人がしていく。(教務)
- ・子供たちに目標や夢を持っているのか、聞いてみたい。漠然とした夢はあっても具体的にどうしたらいいのかはわかっていないのではないか。(五十川委員)
- ・基礎学習の定着には、家庭の協力が必要。(廣瀬委員)
- ・基礎学力の定着に課題があるというのは、テストの結果からわかるのか。(萬立委員)
- テストもそうだが共に過ごしている教員が肌で感じている。(校長)
- 小規模校で競争意識が低い。発表の際に多様な意見が出にくい。(教務)
- 挑戦をし続けるところが弱いように見受けられる。勉強もしつけもあいさつも、学校と家庭で伸ばしていくことを共有したい。(校長)
- ・集団生活の中で、発言することが得意な子もいれば苦手な子もいる。できる子に多くを任せてしまうのではなく、他の子にも活躍するチャンスを持たせることを大切にしてほしい。(五十川委員)
- 今後に生かしていく。(教頭)
- ・複式の授業は、慣れている先生にやっていただけると安心する。(五十川委員)
- 複式は避けられない。どの教員も複式学級を持つ可能性がある。そのために授業の進め方シートを作成して使っている。子供たちも学習リーダーを担うことに慣れてきた。(校長)

(2) 夢育やらまいか推進事業 GS 加算分について

- ・異年齢の児童生徒の集団活動を目的とした宿泊体験の際の交通費として使ったことを教頭が委員に報告した。

(3) 第3期委員について

- ・任期終了の委員が5名いるため、新しい委員の候補について、教頭から委員に情報提供を求めたところ、7名ほど名前が挙がった。最終的には、学校長が判断して委員会へ推薦していくことを伝えた。

11 連絡

(1) 令和8年度学校運営の基本方針について

- ・「こころゆたかに」をベースにして、「たくましく生きる」ことに重点を置いた基本方針にしたい。目指す教師像についても考案する。(校長)

(2) 第5回開催日時について

- ・教頭から、次回会議は、令和8年2月26日(木)13時30分に開催する旨の連絡があった。
- ・次回の議長は松田委員が選出された。